

令和 8 年 2 月記者発表

質疑応答の概要

令和 8 年第 1 回富谷市議会定例会提出議案の概要

Q.

令和 8 年度当初予算に関して、キャッチフレーズあるいは、短い説明でこういった位置付けの予算であるかお答えください。

A.市長

令和 8 年度は、本市が市制施行 10 周年を迎える一つの大きな節目を迎える年であり、それに合わせて第 2 次富谷市総合計画がスタートする年でもあります。平成 28 年の市制施行時、本市はベッドタウンとして発展してきましたが、ベッドタウンから脱却し、自立した都市基盤を確立したい思いがありました。当時、市民の皆さんに様々なご意見をいただいて「住みたくなるまち日本一～100 年間人が増え続けるまち～」を目標に掲げて富谷市総合計画を策定し、様々な取組を実施してきました。その取組を踏まえて、令和 8 年度当初予算を一言で言いますと、「更なる発展に向けた新たなスタートの予算」だと思っております。これまで整備を進めてきたユートミヤ（富谷市複合図書館）もいよいよ 5 月 1 日にグランドオープンを予定しており、またこれまで準備してきた成田二期北土地区画整理事業もスタートいたします。富谷市総合計画では 18 の重点施策があり、令和 8 年度当初予算はその重点施策を意識しながら構成した予算になっております。

Q.

ベッドタウンから脱却して都市基盤を確立するという目標は達成したとの認識ですか。

A.市長

企業誘致をかなり進めましたので、全てとは言えないかもしれませんが、自立した都市基盤のベースは作ることができた 10 年間だったと思っております。

Q.

ユートミヤ（富谷市複合図書館）関連の予算も計上されているかと思いますが、改めて 5 月 1 日のグランドオープンに向けての気持ちをお聞かせください。

A.市長

ユートミヤについては、市制施行時に住民アンケートを行った際、必要な施設は何ですかとの質問の中で、基幹公共交通に加えて図書館を求める声をたくさんいただいたこともありまして、市民図書館の整備に向けてスタートしました。しかしながら、図書館単体ですと国の交付金を見込めなかったこともあり、ある程度財政規模に応じたもので、当初基本構想を

作りましたが、せっかく作るのであれば、もっと良い施設にしてほしいとの署名を約 1000 人の皆さんからいただきました。この声を無視するわけにいかないと、しっかりと受け止めて、限られた予算・財政の中でどうすればいいだろうと検討した際、複合化することによって、国の交付金（都市構造再編集中支援事業補助金ほか）をなんとか確保できるのではないかと考えました。当時、図書館の次に求める声が多かった「児童屋内遊戯施設」と、地方創生の総合戦略の大きな柱に掲げていた、「スイーツステーション」を一体とした複合施設として、再スタートして時間をかけて、最終的には成田公民館敷地内に素晴らしい施設を整備できました。整備費は約 30 億円ですが、その約半分は国の交付金（都市構造再編集中支援事業費補助金ほか）を確保できました。市民の皆さんが待ち望んでいる施設でもありますし、市制施行 10 周年に合わせて、本市の新たなシンボルにもなる施設だと思っております。新年度予算はユートミヤに関する内容についても重点的に配分しているところでございます。

Q.

令和 8 年度当初予算の「新公共交通システム推進事業」について、都市型自走式ロープウェイに関して実施する追加調査の内容をお聞かせください。

A.市長

都市型自走式ロープウェイにつきましては、まずは導入可能性調査を令和 7 年度に実施し、導入が物理的には可能だということが、A 案、B 案という形で整備費用なども算出し 12 月に報告させていただきました。現在、Zip Infrastructure 株式会社が開発する都市型自走式ロープウェイ「Zippar」は、国土交通省へ新たな軌道系交通として認可の申請を行っているところでございます。やはり国の認可前の段階で、更に追加で詳細調査を実施することは難しい部分ではありますので、令和 8 年度については、その進捗も伺いながら、自前でやれる範囲で調査・研究を継続していくということで、予算を計上させていただいたところでございます。なお、市民の皆さんに都市型自走式ロープウェイへの理解を深めていただくことも重要なことだと考えておりますので、3 月 14 日（土）に、富谷塾の公開講座として、Zip Infrastructure 株式会社代表取締役 CEO で開発者の須知高匡さんをお招きして、富谷市役所で講演を行っていただく予定です。

A.交通政策推進室長

具体的には、令和 7 年度実施した都市型自走式ロープウェイの調査報告書を基に、自前で支柱や駅舎などの配置箇所の検討や簡易な図面の作成などを行ってまいりたいと考えております。

Q.

令和 8 年度当初予算の「都市計画事業」について、新病院整備を予定している明石台地区都市再生整備計画が、具体的にどういった内容の計画か教えてください。

A.都市計画課長

明石台地区都市再生整備計画は、本市が定める立地適正化計画に基づき、明石台地区における総合病院建設事業を、国が定める都市構造再編集集中支援事業に位置付け、補助対象にするために策定します。今回総合病院を誘致することに伴い、病院用地を確保していますが、その周辺も含めて、都市の持続的な発展のために、どのように利用していくかということ、調査し計画を策定するものです。

Q.

一般会計の当初予算が対前年度比で減少となっていますが、減少となった主な要因と、減少に転じるのは何年ぶりになるのかをお聞かせください。

A.財政課長

行政改革を実施し、全事業を見直し事業費を精査したことや、大型事業として整備を進めていたユートミヤ（富谷市複合図書館）の事業や、教育委員会の予算になりますが、各小・中学校へタブレット端末を導入する事業が完了したことなどによって、当初予算の減少につながりました。当初予算が減少に転じたのは8年ぶりです。

Q.

令和8年度当初予算の「保育所運営維持管理事業」で、保育士の負担軽減を図るため、新たにICTを活用した保育管理システムを導入するというのは、こういった内容の事業で事業費はいくらになりますか。

A.子育て支援課長

保育所の当園、退園の管理、それから連絡等の一斉メール配信、そういったものを行うシステムの導入費用でございます。公立保育所4カ所へ導入し、事業費は約2,700万円で5年間の契約になります。

Q.

令和8年度当初予算の「市立小学校、中学校運営事業」で全小・中学校の水泳学習事業外部委託とありますが、これはこういった内容の事業で、事業費はいくらになりますか。

A.学校教育課長

水泳の指導と施設利用をセットで民間委託する内容になっております。令和8年度は約1,800万円ということで計上しており、3年間の契約になります。

Q.

水泳の指導というと、スポーツ施設のようなところに業務委託して、児童・生徒がバスでその施設に行って、水泳の授業として教えてもらうというイメージでしょうか。また、小・中学校のプールは使わなくなるということですか。

A.学校教育課長

その通りです。

Q.

令和 8 年度当初予算の清掃センター移転事業について、新たにストックヤードを整備し移転するための基本計画・基本設計を行うとありますが、具体的にどこに新しくストックヤードを作るといふ候補地は決まっているのでしょうか。

A.生活環境課長

候補地は選定中で、はっきりした場所は申し上げられませんが、現在地の近くの場所に整備・移転したいと考えております。

Q.

一般会計当初予算の減少要因をお伺いしたときに、行政改革の成果もあったとの説明がりましたが、例えばこういったものを見直したといった実例があればお願いします。

A.企画部長

今回、全ての事務事業を総点検ということで見直しをしております。見直しの区分におきましては、削減、縮小、廃止統合などこういった区分にそれぞれ全ての事業を区分分けして見直したところでございます。

A.企画政策課長

事務事業の見直しですが、各事業において、細かい部分で小さな見直しを行いました。また、業務の統合や大型事業の終了、そういったものが今回の見直しの成果かなというふうに思っております。引き続き、各事業の業務改善を行ってまいります。

A.市長

平成 28 年の市制施行時に富谷市総合計画を策定しましたが、当時、財政調整基金は減り、市債は増える一方という状況で、このままだと総合計画の将来像に向けて事業を進めることが難しいのではないかとこの局面でした。この状況に対応するため、平成 29 年度に 1 年間かけて、全ての事務事業の見直しを行いました。その時に状況が大幅に改善しました。全ての事務事業を見直ししたことによって、職員一人一人の意識が変わったという面もありまして、その際 V 字回復して、財政調整基金は右肩上がり、基金からの繰り入れなしで数年間予算を編成させる程度まで回復させ、市債を減らすこともできました。しかしながら、その後新規事業が増えて、再び財政調整基金を取り崩す、市債も増えるという状況になりました。そこでもう一度行政改革を行わなければならないということで、令和 7 年度、富谷市行政改革プロジェクトチームを立ち上げて、1 年間かけて全ての事務事業の見直しを行いました。勿論、減った要因に大型事業が終了したということもありますが、一つ一つの事務事業に対して全ての職員が意識して、頑張っ取り組んだ成果が、この令和 8 年度当初予算

に反映されたものと考えております。

その他の案件

Q.

今回の衆議院議員総選挙の結果を踏まえた所感をお聞かせください。

A.市長

今回の衆議院議員総選挙はご承知のとおり、自由民主党が過去最高の議席を確保する結果となりました。この数年間、物価高騰が続く中で、高市内閣への期待感がこの結果に繋がったものと思っております。これほど大きな期待を受けたわけですから、私としても結果に繋がっていくことを期待したいと思っております。

Q.

結果に繋がっていくことと言いますと、やはり今お話しされていた物価高対策への結果ですか。

A.市長

経済対策も含めて、そういった面に応えていただけることを期待したいと思っております。